



学校だより

教育目標：元氣な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.535

令和 4年 4月 6日
練馬区立田柄第二小学校
校長 岩井 一雄

御入学、御進級、おめでとうございます

校長 岩井 一雄

校庭の桜の花が舞う中、新入生106名を迎えて令和4年度がスタートしました。田柄第二小学校は、児童総数541名、昨年度より1学級増えて18学級で本日 新学期を迎えました。子供たちは新しい学年を迎え、喜びと期待に胸を膨らませていることと思います。その気持ちを大切に、子供たち一人一人が自分のもち味をさらに発揮できる学校の実現をめざして、教職員一丸になって取り組んでまいります。昨年度と同様、保護者・地域の皆様の御支援・御協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、わたくしが今年度、学校全体で取り組んでいきたいことは、コロナ禍にあっても、できる授業や行事を子供たちからの発想も生かして進めていくことです。この2年間に亘って、どの学校でも行事が近づくと共に予定通り実施できるのかどうか不安を抱くことから始まり、感染状況の増加の報道に心を閉ざされるような日々が続いてきました。実際、中止や縮小となった校外学習等も多く、大人も子供も、「コロナだから、できなくてもしかたがない・・・。」という意識に陥ってしまっている部分があるように思います。しかし本校では、昨年度のダンスフェスティバルで子供たち自身が振付を考え披露したときや、学習発表会に向けて体育館外の作品展示を子供たち自身で行ったときなど、生き生きと活動に取り組む場面も見られました。自分たちで企画したことが実現するとき、子供たちの目は輝き、自信をもって次に進んでいくことを再認識したのです。この経験を生かし、こんなときにこそ、子どもたちの「こんなことをやってみたい」という願いを土台に、行事の再構築を行っていきたいと思います。体育館の舞台にて、音楽科を中心に、生活科、図画工作、総合、体育で学んだことも加味して、今年度の新たな学習発表会を創造していきます。ご期待ください。

今年度わたくしがぜひ子供たちに身に付けさせたいのは、「互いに考えを深め合うこと」です。田二小では、昨年度から、道徳の校内研究を行ってきました。子供たちに様々な教材を通して道徳的な価値について自分の考えをもち、向き合うことができました。ノートやワークシートなどの記述も随分しっかりと書けるようになってきました。ただ、せっかく書いているのに、その内容を友達に言葉で伝えることに消極的な子供もまだ少なくありません。学んだ事柄を生活の中で活用することにも課題があります。この状況を変えていくには、学級集団が「間違えることを誰も気にせず、受け入れて学び合おうとする」あたたかいものであることが基盤となります。教師はそのような学級を育て、更に子供たちの発言をじっくり聞いた上で、他の子供の思考を耕すような発問を周りに発信し、学級全体の学びを深めていかなくてはなりません。また、学校全体でともに取り組む事柄も必要です。人と会ったら場に応じた挨拶をする、名前を呼ばれたら「はい。」と返事をする、こういったこともたゆまぬ指導を続けてまいります。

田二小の校舎も還暦を過ぎました。一部に残っている和式トイレが現在の生活環境に合わなくなっております。主に夏休みを利用し、児童用トイレを洋式に改築する工事が入る予定です。御理解の上、御協力のほど、お願い申し上げます。